

札幌・ミュンヘン姉妹都市提携45周年記念誌

# 45<sup>th</sup>

45 Jahre Städtepartnerschaft  
1972 ▶▶▶ 2017



München



# 45

Sapporo  München

## 札幌・ミュンヘン 姉妹都市提携 45周年記念誌



Sapporo

札幌市国際部

# 目次

## CONTENTS



■ごあいさつ	
札幌市長 秋元 克広	2
ミュンヘン市長 ディーター・ライター	3
■祝 辞	
札幌姉妹都市協会会長 福迫 尚一郎	4
■45周年記念事業	
札幌からミュンヘンへ	5
ミュンヘンから札幌へ	12
札幌市内で行われたイベント	13
■ドイツ国際交流員から見た姉妹都市交流	
国際交流員 レオナルド・ブリンクマン	16
■札幌市とミュンヘン市の交流の歴史	
姉妹都市提携への道のり	18
45年の交流史	22
札幌に残るミュンヘンの足跡	50
■ミュンヘン市紹介	
ミュンヘン市の概要	52
■資料	
国際親善ジュニアスポーツ交流代表者会議に関する確認書	
経済、技術、文化の分野における友好交流及び協力	
札幌・ミュンヘン姉妹提携団体一覧	
ミュンヘン市の行政組織と歴代ミュンヘン市長	



## ごあいさつ 45th Anniversary



札幌市長  
秋元 克広

札幌市とドイツ・ミュンヘン市は、1972年の冬季・夏季オリンピック開催地に各々が選ばれたことをきっかけに、姉妹都市提携を締結しました。その後、学校間の交流やジュニアスポーツ交流、教育の先進事例を学び合う職員交流など、幅広い分野において関係を深めてきたところです。

2017年、姉妹都市提携から45周年を迎え、9月に私を含む市長訪問団、市議会議員訪問団、経済訪問団が、また、10月には市民訪問団がミュンヘン市を訪問し、祝賀行事など通して友好を確認しました。

世界最大のビール祭りである「オクトーバーフェスト」の開幕式典にもご招待いただき、ディーター・ライター市長をはじめ、バイエルン州のホルスト・ゼーホーファー首相や王族の方に、直接札幌の魅力をお伝えするという貴重な機会を頂戴しました。また、ミュンヘン市のエネルギー政策の先進的な取り組みを行う施設の視察などを通して、札幌のまちの将来を展望する上での着想を得ることもできました。

11月には、ミュンヘン市長の代理として、エヴェリン・メンゲス市議会議員、クリスティナ・フランク市議会議員、ライナ・ロシュ氏の3名を札幌にお迎えし、祝賀行事のほか、姉妹都市提携30周年を記念して始まった「ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo」のオープニングセレモニーにも参加していただきました。周年行事に合わせてのミュンヘン市訪問団の来訪は実に15年ぶりのことであり、相互訪問を実現できたことは、大変喜ばしいことであると考えております。

2022年には、札幌とミュンヘンは姉妹都市提携50周年を迎えます。交流の始まりから半世紀という大きな節目を迎えるにあたり、一人でも多くの市民の皆さんに姉妹都市ミュンヘンへの親しみを抱いていただけるよう努めていくとともに、培ってきた絆をさらに深化させ、互いのまちづくりにつながるものを学び合えるような関係を築いてまいりたいと考えております。

## ごあいさつ 45th Anniversary



ミュンヘン市長  
ディーター・ライター

2017年9月、姉妹都市提携45周年の記念事業の一環として秋元札幌市長とミュンヘンでお会いできたこと、また、「オクトーバーフェスト」の開幕式典にご出席いただいたことを大変うれしく思っています。そしてこの記念誌を通して、両市で行われている活発な交流事業についてご報告できることを感謝申し上げます。

1972年に姉妹都市提携を結んでからこれまでの間、北海道の中心都市である札幌と、バイエルン州の州都であるミュンヘンの間に、さまざまな交流が生まれてきました。その象徴として、札幌にはミュンヘン大橋が、また、ミュンヘンにはオリンピック公園にある「札幌通」やウエストパークの日本庭園、英国庭園の茶室が挙げられます。

札幌とミュンヘンの姉妹都市交流は、何よりも、人々の出会いとそこで培われる絆によって豊かなものになっていると感じています。スポーツ少年団の交流事業や、姉妹校提携を結んだ学校間の交流、ルートヴィヒ・マクシミリアン大学及びミュンヘン工科大学と北海道大学とのパートナーシップなどが、その好例と言えます。毎年、英国庭園で開催される「日本祭り」もミュンヘン市民に好評で、日本とミュンヘンの間に強いつながりを感じる機会になっています。経済・観光分野での関係も深まっており、ミュンヘン市在住の日本人は約3,000人となり、2016年だけで観光客としてミュンヘンを訪問した日本人は85,000人を超えました。

距離は離れていても、それを乗り越えて両市の友好関係を密にできることはとても素晴らしいことです。これまでの交流の歴史にふれ、姉妹都市提携50周年の大きな節目に思いを馳せながら、この記念誌を札幌市民の皆さまに楽しく読んでいただきますことを、心より願っています。

Dieter Reiter

## 祝 辞 45th Anniversary

札幌姉妹都市協会会長  
福迫 尚一郎



札幌市とミュンヘン市が、冬と夏のオリンピック開催を縁として1972年に姉妹都市提携を行って以来、長い交流の歴史を積み重ね、45周年を迎えられたことをお祝い申し上げますとともに、心からうれしく思います。

この間両市は、経済、文化、スポーツなどさまざまな分野での交流を通じて、お互いの素晴らしい面を学び合い、市民同士の理解を深めてまいりました。

札幌姉妹都市協会では、この度の45周年を記念して、札幌国際プラザと共にさまざまな事業を展開いたしました。そのハイライトとも言える「ミュンヘン市民交流の旅」では、総勢20名余りの市民の方々と共にミュンヘン市を訪れ、現地の方々との交流の輪を広げました。今回の訪問ではアイヌ音楽の演奏家の方々にも同行いただき、ミュンヘンで活躍する音楽家の方々と一緒に記念演奏会を開催し、北海道の音楽や文化を伝えました。また、小学校を訪問して、アイヌ音楽を披露したほか、地域との連携の様子やダイバーシティへの対応など、先進的で発展的な教育現場の姿を学びました。さらに、バイエルン独日協会様のご協力を得て実現したホームビジット、ミュンヘン市に手配いただいた“まち歩き”など、行く先々で温かい歓迎を受け、これまでの長い交流によって培われた絆を実感することができました。

札幌においては、豊平館でドイツの音楽を披露したほか、ドイツ・バイエルン州の食文化と音楽に関するセミナーや「市民交流の旅」などの記念事業のパネル展及び報告会を開催し、市民の方々にドイツとミュンヘン市に対するさらなる関心と理解を深めていただくこともできました。

2022年は姉妹都市提携50周年という大きな節目を迎えます。今後もさまざまな事業を通して両市の親交をより活発化させ、相互理解と信頼を築くことが、さらなる交流の歴史に繋がることを考えております。

引き続き当協会は、札幌市民とミュンヘン市民の交流をつなぐ架け橋となるよう努めてまいりますので、今後ともご協力賜りますようお願い申し上げます。

## 札幌・ミュンヘン姉妹都市提携45周年記念事業

### 2017年を振り返って

札幌市とミュンヘン市は、1972年、札幌で冬季オリンピック、ミュンヘンで夏季オリンピックを開催したことを契機として姉妹都市提携を結び、これまでにさまざまな分野での交流が続いています。

姉妹都市提携45周年を迎えた2017年は、両市の代表による相互訪問が実現したほか、札幌市内ではさまざまな記念イベントも行われました。

## 札幌からミュンヘンへ

### 公式訪問団によるミュンヘン訪問

2017年9月、姉妹都市提携45周年を記念し、秋元市長を代表とする市長訪問団6名、市議会議員訪問団15名、経済訪問団13名の計34名がミュンヘンを訪問しました。



フラウエン教会

写真提供：ドイツ観光局



オクトーバーフェスト

### ミュンヘンでの主な行事

日程	主な行程	市長団	議員団	経済団
9月14日（木）	ミュンヘン市長表敬訪問 姉妹都市提携45周年記念レセプション 在ミュンヘン日本総領事館表敬訪問	○	○	○
9月15日（金）	ミュンヘン新電力公社視察 職業訓練学校視察 ミュンヘン・テクノロジーパーク視察 ドイツ博物館視察	○	○	
9月16日（土）	オクトーバーフェストオープニング式典	○	○	



## 姉妹都市提携45周年記念レセプション

札幌とミュンヘンの姉妹都市提携45周年を祝う記念レセプションが、ミュンヘン市主催で開催されました。札幌市からは市長訪問団をはじめ、市議会議員訪問団、経済訪問団の計34名が参加しました。一方、ミュンヘン市からは、ディーター・ライター市長、エヴェリン・メンゲス市議会議員、ツーレック教育スポーツ局長などが参加しました。

レセプションは、45年前に板垣市長とクローナピッター市長が姉妹都市提携の調印をした時と同じ会場で行われました。現地の子どもたちが奏でる和やかな音楽の中、姉妹都市提携45周年の記念すべき節目をお祝いし、両市の関係を今後一層深めていくことを確認しました。



秋元市長による挨拶



ミュンヘン市からの記念品の進呈



厳かな演奏で会場を和ませる現地の子どもたち



記念レセプションの様子



## まちづくり先進事例視察

### ■ミュンヘン新電力公社（シュタットベルケ・ミュンヘン）

「シュタットベルケ」とは、自治体が出資するインフラサービス企業のことです。

「シュタットベルケ・ミュンヘン」は、ミュンヘン市の電力・ガス・熱供給事業、交通事業、水道事業、プール事業、通信事業を一手に担っており、事業規模は年間8,000億円以上にもなります。今回の視察では、同社の技術管理部門責任者に、地熱による熱供給プラントを案内していただきました。

視察先では、地下3,000メートルから約90℃の熱水を汲み上げて地域に循環させ、周辺の建物で地熱エネルギーを有効利用する「地域熱供給」や、再生可能エネルギーにより発生させた電力を地域で活用する取り組みについて説明を受けました。

札幌市では、都心部の新たなエネルギー計画「都心エネルギーマスタープラン・アクションプラン」の策定を進めているところであったため、その参考となる有意義な視察になりました。



### ■ミュンヘン・テクノロジーセンター

中小企業120社にオフィススペースを提供し、無料の経営相談を行うなど、企業の支援に積極的に取り組む「ミュンヘン・テクノロジーセンター」を視察しました。

この施設は約30年前にミュンヘン市が創立。入居企業への創業時の煩雑な手続きのサポートや経営・販売戦略のアドバイス、法律相談など、ビジネスを定着させる上で必要な支援を行っています。

視察時には、同センターに入居する企業2社から、提供しているサービスについて説明を受けました。サービスの内容は、電気自動車の充電スタンドの位置を地図上に示し、使用予約をできるスマートフォン・アプリや、多臓器不全の患者向けの人工透析機器など、斬新なものでした。





## ■ドイツ博物館

年間約140万人が来館するドイツ博物館を訪問。館長や展示物収集の責任者から、同館の特徴について説明を受けた後、館内を案内していただきました。

ドイツ博物館は、多くの展示品に触れることのできる体験型の施設になっており、子どもはもちろん、幅広い世代が楽しめる工夫が随所に施されています。

視察時には、来場者が政治家になりきって環境に関する自分の意見を表明したり、クイズやゲームの形式でエネルギー政策とまちづくりを学んだりできる企画展が行われていました。

考え抜かれた展示手法を通して、さまざまな意見や価値観を踏まえたうえで環境エネルギー政策が進められていることが分かり、ミュンヘン市の環境意識の高さをあらためて認識する機会になりました。



## ■職業訓練学校（札幌市議会議員訪問団）

札幌市議会議員訪問団が、ミュンヘン市立の職業訓練学校及びマイスター訓練学校の視察を行いました。

ドイツでは、マイスター制度という独自の職業制度があり、国家試験に合格し、マイスターの資格が無ければ手工業関係業種の開業や教育をすることができません。

フランケ校長、ドレクセル副校長、マーシャル氏（ミュンヘン市国際教育・スポーツ交流担当）によると、ドイツには日本のような終身雇用の考え方は基本的にはなく、職業訓練による資格取得は安定的な雇用のために有効な方法であり、資格を取得するとほぼ100%が企業等に就職できるとのこと。労働環境における日本とドイツとの文化の違いを再認識する視察となりました。



## オクトーバーフェスト開幕式典

ミュンヘン市からの招待を受け、世界最大のビール祭りであるオクトーバーフェストの開幕式典に出席しました。

秋元市長は、ミュンヘン市のディーター・ライター市長をはじめ、バイエルン州のホルスト・ゼーホーフー首相や王族の方と席を並べ、歓談を通して、札幌の魅力やミュンヘン市やドイツの有力者にPRすることができました。

会場では来場者たちが生演奏に合わせて思い思いに歌って踊り、大盛況でした。会期中に訪れる約600万人の来場者のうち、約7割はミュンヘン市民であると言われるこのイベント。世界中の観光客を呼び込みながらも市民に親しまれ続ける理想的なイベントの在り方を、肌で感じる機会にもなりました。



## 世界に広がる“ラーメン文化”視察

札幌を代表する食文化である味噌ラーメンが、ドイツでも親しまれていることから、札幌に本社を構える西山製麺株式会社の麺を使用している店「ラーメン匠」を市長訪問団が訪れました。

現地で対応していただいた西山社長によれば、「札幌の味噌ラーメンをそのまま現地に持ち込む」という方針で、現地向けに味を調整することは基本的に行っていないとのことでした。



オープンから15分ほどで店は満席。平日であるにも関わらず並んでいる客もおり、大変なにぎわいでした。日本のアニメで登場人物がラーメンをすすめる姿にあこがれて訪れる若者も多いとのこと。札幌ラーメンがドイツ・ミュンヘンの市民に受け入れられていることを実感しました。



## 在ミュンヘン日本国総領事館訪問

ミュンヘン市における日本国の代表である総領事に敬意を表するため、在ミュンヘン日本総領事館を表敬訪問しました。

柳総領事から、ミュンヘン市を中心とする当地情勢について詳細な説明があった後、市長や市議会議員訪問団のメンバーとの活発な質疑応答が行われました。



## ミュンヘン市民交流の旅（札幌市民訪問団）

札幌とミュンヘンの姉妹都市提携45周年を記念し、市民同士で両市の友好のさらなる発展を図るため、2017年10月6日から13日の8日間、市民訪問団21名がミュンヘンなどを訪問しました。

現地では、ミュンヘン在住の音楽家をはじめ、訪問団としてミュンヘンを訪れたアイヌアートプロジェクトによる「記念コンサート・交流会 ～札幌より愛を込めて～」を開催。訪問団員やミュンヘン市民など88名が参加し、バイエルンの音楽とアイヌ民族音楽を堪能しました。そのほか、バイエルン独日協会会員家庭へのホームビジット、ミュンヘン市ヴィンテル広場小学校への訪問などを通じて、市民同士の交流を深めました。

また、帰札幌後の11月30日には、札幌国際プラザを会場にドイツ文化の紹介を交えた報告会を実施。訪問団として参加した市民など25名が出席し、姉妹都市ミュンヘンをより身近に感じていただくことができました。



ミュンヘン市新市庁舎前にて



ミュンヘンヴィンテル広場小学校での交流会



## スポーツ交流

### 国際親善ジュニアスポーツ姉妹都市交流

札幌市では、国際感覚豊かな人材を育成することを目的として1985年から姉妹都市間での青少年のスポーツ交流を行っています。

姉妹都市提携45周年事業の一環として、2018年1月21日～27日までの7日間、市内の中学生女子バスケットボール選手12名を含む18名の札幌市選手団をミュンヘン市に派遣しました。

現地では、ミュンヘン市の中学生との交流試合を3試合行い親善を深めたほか、オリンピック公園やフラウエン教会などの名所も視察。ミュンヘン市議会議員のエヴェリン・メンゲス氏らが歓迎の意を込めて準備して下さった昼食会にも出席しました。

参加した生徒たちは、バスケットボールを通じて、ドイツ・ミュンヘンの文化にふれる貴重な経験をすることができました。



### ローゼンインセルレガッタへの出場（札幌ボート協会）

姉妹都市提携45周年を機に、札幌ボート協会の5名が、ミュンヘン市近郊で開催するボートレースに出場するため、ドイツを訪問しました。

大会名は「ローゼンインセルレガッタ」。2017年9月23日、シュタンベルク湖を会場に行われました。

札幌ボート協会は、2002年にミュンヘンボートクラブから招待を受けて同じ大会に出場するなど交流がありましたが、近年はほぼ連絡が途絶えていました。そこで、さらなるボート競技の普及・振興を目指す中川信治会長が、提携45周年を機に交流を再開することを熱望。札幌市国際交流員なども支援し、実現に至りました。

大会には、札幌ボート協会とミュンヘンボートクラブの選手が混成チームを組んで参加。市民レベルでのスポーツ交流が、長年に渡る姉妹都市交流を盛り上げています。





## ミュンヘンから札幌へ

### 公式訪問団の来札

2017年11月22日から27日にかけて、ミュンヘン市長の代理として、エヴェリン・メンゲス市議会議員、クリスティナ・フランク市議会議員、ライナ・ロシュ氏の3名が札幌を訪れました。5年に一度の節目にミュンヘンからの訪問団が訪れるのは、2002年以来15年ぶりのことでした。

姉妹都市提携45周年記念祝賀会には、2017年9月から10月にミュンヘン市を訪問した市議会議員訪問団、経済訪問団及び市民訪問団員のほか、札幌市内でドイツ関連の事業を展開する企業、国際交流団体の方々など124名が集まり、ミュンヘン市訪問団の皆さまを歓迎するとともに、記念すべき年を盛大に祝いました。

ミュンヘン市訪問団は、ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporoのオープニングセレモニーやスポーツ関連施設の行政視察、企業訪問などのプログラムに参加。それぞれの場での情報交換を行うことで知見を深め合い、互いの都市のまちづくりにつながる貴重な機会とすることができました。



札幌・ミュンヘン姉妹都市提携45周年記念祝賀会



アトラクションとして披露された「ジャンベ太鼓」を体験

### 主な行事

日程	主な行程
11月22日(水)	札幌市議会議長表敬訪問
11月23日(木)	サッポロビール博物館視察 札幌ドイツ連邦共和国名誉領事訪問、行政視察(札幌ドーム)
11月24日(金)	札幌市長表敬訪問 札幌商工会議所副会頭表敬訪問、企業視察(西山製麺株式会社) 札幌・ミュンヘン姉妹都市提携45周年記念祝賀会
11月25日(土)	企業視察(バルナバフーズ株式会社) 大倉山ジャンプ競技場・オリンピックミュージアム視察 ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo オープニングセレモニー 札幌市議会日独友好議員連盟懇親会
11月26日(日)	行政視察(円山動物園)



## 札幌市内で行われたイベント

### 第16回ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo

札幌とミュンヘンの姉妹都市提携30周年を記念して2002年に始まった「ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo」。16回目の開催となる今年は、姉妹都市提携45周年を記念したさまざまな企画を展開し、たくさんの皆さんにドイツ・ミュンヘンの文化に親しんでいただくことができました。



【日 時】2017年11月25日(土)～12月24日(日)

【場 所】大通公園2丁目

【来場者数】134万1千人

### 姉妹都市提携45周年を記念した取り組み

#### ■オープニングセレモニー

開幕初日の16時から、ミュンヘン市訪問団の3名も参加して盛大に開催。テレビ塔をドイツ国旗をイメージした3色にライトアップして、メモリアルイヤーをお祝いしました。



#### ■世界の音楽ステージ

姉妹都市提携45周年を祝い、例年以上にドイツの民謡や童謡を数多く演奏。ドイツ人のチェロ奏者も出演し、会場は本場ドイツさながらの雰囲気になりました。



#### ■子どもサンタパーティー

12月6日の「聖ニコラウスの日」に、サンタクロースの衣装を着て来場した子どもにお菓子をプレゼントする企画。86名の子どもたちが集まり、会場は大いににぎわいました。



#### ■ドイツの文化紹介ワークショップ

クリスマスツリーやオーナメント制作などのワークショップを計15回開催。材料は木や毛糸などの自然素材を使うなど、大人から子どもまで安心して楽しめるイベントになりました。





## オータムビヤフェスト

札幌・ミュンヘン姉妹都市提携40周年を契機に始まったオータムビヤフェスト。「ビールのみちさっぽろプロジェクト」の一環として、札幌のビール文化をさらに盛り上げるために2012年以降、毎年開催されており今回で6回目を迎えました。

期間中、姉妹都市提携45周年にちなみ、ドイツ産の麦芽・ホップを使用した限定ビール「さっぽろミュンヒナー2017」や、アイスヴァインやプレッツェルなどのドイツ料理が堪能できる「札幌×ミュンヘン45周年スペシャルプレート」などの料理を販売。来場された方が気軽にドイツ料理を堪能できる機会になりました。

札幌のパフォーマーによるステージイベントなども展開し、来場者がビールや食、音楽などを思い思いに楽しみ、会場は大いに盛り上がりました。

【日時】2017年10月6日～8日（3日間）

【場所】サッポロファクトリー アトリウム・煙突広場

【来場者数】8,000人



たくさんの来場者でにぎわった会場



限定ビール「さっぽろミュンヒナー」

## 福祉協賛さっぽろ大通ビアガーデンでのPR

在札幌ドイツ連邦共和国名誉領事館であるサッポロビール株式会社北海道本社の協力をいただき、2017年7月20日から開催された福祉協賛さっぽろ大通ビアガーデンの8丁目会場で、札幌・ミュンヘン姉妹都市提携45周年のPRを行いました。

会場では、札幌とミュンヘンの交流の歴史が分かる映像を、会場内の大スクリーンなどに放映したほか、ミュンヘンの魅力を掲載したうちわを2,000本制作し、会場で配布。市民の皆さんに姉妹都市ミュンヘンを身近に感じていただくきっかけになりました。



## 札幌国際プラザによる記念行事

### ■ドイツを知るセミナー「バイエルンの歌と料理を楽しみましょう！」

2017年7月8日、狸小路にあるビアホールで、バイエルン州の民族音楽を聞きながらビール文化にふれるセミナーを開催しました。企画・講師は札幌市国際交流員のレオナルド・プリンクマン。45名の参加者は、ユーモアを交えた文化紹介に耳を傾けながら、2種類のドイツビール、プレッツェルやソーセージに舌鼓を打ちました。



### ■記念コンサート「室内楽の夕べ in 豊平館」

2017年11月6日、豊平館でドイツ音楽に親しむコンサートを開催しました。出演者は、札幌で活躍する若手音楽家4名。優雅な雰囲気の中、ドイツの作曲家のシューマンやライネツケ、日本人になじみの深い「トルコ行進曲」や「赤とんぼ」の楽曲が演奏され、79名の参加者はクラシック音楽に酔いしれました。



### ■記念パネル展

2017年12月1日～8日、札幌国際プラザでミュンヘンの歴史や文化について知ることができるパネル展を開催しました。

来場した多くの方々に、気軽に姉妹都市ミュンヘンの魅力や文化、札幌との交流の歴史を知っていただくことができました。



### ■ドイツ語を楽しむ会 ～バイエルン方言編～

2018年2月24日、札幌国際プラザを会場に、ドイツ語での会話を楽しむイベントを開催しました。内容は、参加者が少人数のグループに分かれ、一般的なドイツ語にバイエルン地方の方言を織り交ぜた台本をもとに、寸劇を演じるもの。17名の参加者たちは、難しい方言に苦戦しながら、ドイツ文化の奥深さを実感していました。



## ドイツ国際交流員から見た 姉妹都市交流



**名前** レオナルド・ブリンクマン  
**出身地** ドイツ・インゴルシュタット（ミュンヘン市近郊の都市）  
**出生年** 1990年  
**大学** ライプチヒ大学で日本語を専攻。神戸大学国際学部留学  
**趣味** チェス、スノーボード、音楽鑑賞、ピアノ演奏

### —国際交流員の仕事とはどのようなものでしょうか？

札幌の皆さんにドイツの文化を知っていただくことです。具体的には、自ら企画する「ドイツを知るセミナー」や、授業の一環として子どもたちにドイツの文化を伝える「総合学習」、大通公園で行われる「ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo」のサポートなどがあります。ドイツからお客様が訪れたときの通訳や、ドイツ語の文章の翻訳も行います。

### —札幌の街の印象は？

とても住みやすいと思います。気候が出身地のインゴルシュタットと似ていて過ごしやすく、ビールも美味しい。スープカレーやラーメン、お寿司など食べ物も大好きです。札幌でスノーボードを始めましたが、すぐ近くにスキー場があつて最高！雪が降るのを待ち遠しく思っています。

### —姉妹都市提携45周年事業を振り返って、印象に残っていることを教えてください。

2017年9月に市長訪問団の一員としてミュンヘンに出張し、お祝いの行事に参加してきました。一日中、市長の通訳やミュンヘンの担当者との情報交換を続けたので大変でしたが、札幌とドイツ・ミュンヘンをつなぐ「架け橋」として仕事をしていると実感でき、充実した日々でした。

11月には、ミュンヘン市訪問団の3人が札幌にいらっしゃいました。私は滞在中ほとんど一緒に行動していましたが、その中でやりがいを感じたのは、姉妹都市提携45周年記念祝賀会の通訳です。札幌を代表する企業の皆さんや、ドイツと関係の深い方々が100人以上集まる場でしたので緊張しましたが、市長のあいさつをはじめ、歓談の間も的確な通訳ができたと思っています。

ミュンヘンから来訪した3人からは、「札幌市民

の礼儀正しさにとても驚いている」「おもてなしの心を感じる」という敬意と感謝の気持ちを、滞在中に何度も伝えられました。札幌で暮らす者として、とてもうれしく思いました。

### —レオナルドさんが考える姉妹都市交流とは？

都市レベルの交流と市民レベルの交流の2つの側面があり、どちらも大切にすべきと感じています。

都市レベルの交流では、お互いの都市の市長などが定期的に訪問し合うことで、経済や技術、文化の先進的な事例を学んで、自らのまちづくりにつなげていけるところが素晴らしいと思います。

また、市民レベルの交流は、何よりも楽しむことが大切だと思います。スポーツや音楽など親しみやすいことこそ、互いの国や街に興味を持つきっかけ

になります。私は、どんな仕事をするときでも、その場にいる皆さんがドイツに少しでも興味を持ち、記憶に残してもらえたら心からうれしいと感じます。

### —最後に、今後の札幌とミュンヘンの交流に期待することは？

ミュンヘン市民が札幌をもっと身近に感じられる機会が増えることを望んでいます。札幌では「ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo」という一大イベントがありますので、ミュンヘン市でも同じような規模で、札幌に親しんでもらえるイベントなどがあるとよいと思います。

2022年には、姉妹都市提携50周年を迎えます。大きな節目に向けて、札幌とミュンヘンの関係を、今以上に深めていく力になればいいですね。



# 姉妹都市提携への道のり

## 調印までの歩み

### ～オリンピックで結ばれた街～

「ビール」の街として有名な札幌市とミュンヘン市。

この両市には、昭和47年(1972年)の冬季・夏季のオリンピック開催地に各々が選ばれるという歴史的な出会いがありました。オリンピックの開催が決定した翌年の昭和42年(1967年)の8月、ミュンヘン市長ハンス・J・フォーゲル氏(当時)ほか6名が札幌市のオリンピック開催準備の状況を視察するため来札し、原田市長(当時)と都市問題やオリンピック開催施設などについて話し合いました。その際、参加者の中から姉妹都市提携の話が出されましたが、フォーゲル市長は「正式に文書を交わした形でなくても一層仲の良い親友都市になりたい」との意向を表明しました。

その後も、両市の交流はますます活発になり、札幌市からは板垣助役、小塩助役、平瀬総務局長(いずれも当時)、ミュンヘン市からはミュンヘン・オリンピック組織委員会のダウメ会長、フォーゲルスゲザング市議などが札幌市を訪れました。

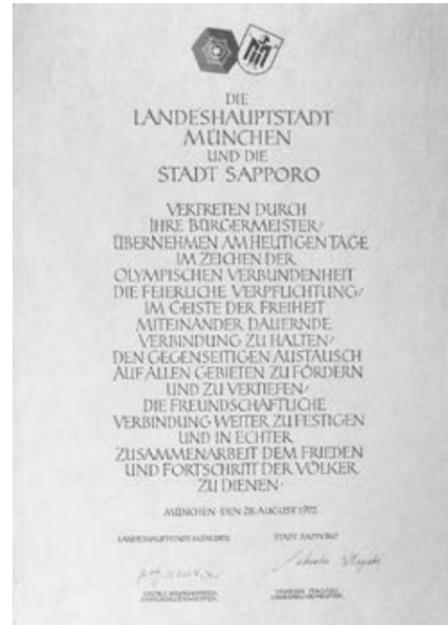
昭和47年(1972年)2月、札幌冬季オリンピック大会視察のためフォーゲル市長のほか9名の使節団が来札。2月5日、板垣市長(当時)を訪問したフォーゲル市長から両市の姉妹提携が正式に申し込まれました。

これに対し、板垣市長は松宮市議会議長(当時)ともよく話し合い、同年8月のミュンヘン夏季オリンピック大会までに調印の準備を進めたいと答えました。

その後、フォーゲル市長は昭和47年(1972年)4月21日付の書状で、ミュンヘン市議会が4月20日に、両都市の姉妹提携を承認したことを伝えてきました。

札幌市では、6月5日付で市議会議長にあて、市長名で「札幌市とミュンヘン市との姉妹提携について」と題した要請文が提出されました。

そして札幌市議会では、「ほぼ同緯度に位置している」「同じ年の冬と夏のオリンピック開催地である」「人口や産業面で共通し、両市間の交流も頻繁になっている」などの点を認め、6月26日の市議会で両市の姉妹提携を承認しました。



札幌オリンピック



ミュンヘン市オリンピック公園

### ～そして調印へ～

昭和47年(1972年)8月28日、ミュンヘン夏季オリンピック大会の3日目、札幌市とミュンヘン市の姉妹都市提携調印式が、ミュンヘン市役所の小会議室で行なわれました。式典には、ミュンヘン市側からゲオルク・クローナビッター市長(当時)、市議会議員をはじめ、両市の提携を事実上実現させたフォーゲル前市長らが出席し、札幌市側からは板垣市長、松宮議長(いずれも当時)、市議会議員、そしてドイツの新聞社の招待でオリンピックを観戦に来ていた生徒5名が参加しました。

調印に先立ち、クローナビッター市長が次のように挨拶されました。

「札幌と姉妹提携を結ぶことによって、ミュンヘンは、はじめてヨーロッパの外に姉妹を得たこととなります。1万3千kmという距離、文化や歴史の大きな違いは一見両市の提携を不可能であるかのように思わせましたが、オリンピックという共通の目標に向けての努力を通じて、両市の友情はますます深まりました。両市は規模、人口、経済などにおいて似通っています。なかでもお互いにビール」の街として有名です。またバイエルン州と北海道は、畜産

が重要産業の一つになっている点で共通していません。北海道で飼育されている家畜をとりあげても、この源をたどれば、ドイツからアメリカのウィスコンシン州を経て北海道に輸入されたことは明らかです。(中略)

近代技術の急速な発展によって世界が狭くなった今日、お互いの無理解や偏見があつてはなりません。

どの大陸であれ、同じ問題で悩む都市は世界平和のために寄与すべきだと考えます」

ひき続き挨拶に立った板垣市長は、札幌市民が昔からミュンヘンに親近感を抱き、ドイツの古い、伝統のある街と姉妹都市になれたことを大きな喜びと思い、両市の友情が日独の親善に、ひいては世界平和に寄与できるように希望していることなどを語りました。

その後、「両市は互いに自由に密接な連携を保ち、あらゆる分野で交流をすすめ、親善のきずなを強め、国際間の平和と向上に寄与する」ことなどをうたった盟約書に署名し、永遠の友好の第一歩を踏み出しました。



札幌市議会議長 松宮 利市 殿

昭和47年6月5日

札幌市長 板垣 武四

### 札幌市とミュンヘン市との姉妹提携について（要請）

ドイツ連邦共和国ミュンヘン市は、本市との姉妹都市提携の締結を希望しております。

この経過につきましては、昭和42年8月ミュンヘン市使節団が本市のオリンピック開催準備状況を視察のため来札された際、両市間の姉妹都市提携が話題となり、さらに本年2月、同市使節団が札幌オリンピック大会視察のため再度来札された際、正式に申し入れがあったものであります。また、ミュンヘン市長からの来信によれば、本年4月20日、ミュンヘン市議会は本市との姉妹都市提携を承認したとのことであります。

ミュンヘン市は、ドイツ連邦共和国バイエルン州の首都であり、本市とほぼ同緯度に位置しております。人口はおよそ120万人、産業面でも本市と共通するものがあるほか、南ドイツの文化、交通、商工の中心都市であります。かつ、1972年には、それぞれ冬季・夏季のオリンピック大会を開催するなど、両市間の親近感も多大であります。

本市は昭和34年、アメリカ合衆国ポートランド市と姉妹都市提携を行い、両市間の人的交流はもちろん、経済交流・青少年交流・記念行事の相互開催などを実施しております。このことは、市民の国際理解・青少年の育成・文化の向上・経済の発展など本市の進展に多大の成果をもたらしており、さらには国際親善と世界平和にも大きく寄与しております。

この前例から考慮いたしまして、本市とミュンヘン市が姉妹都市提携を締結することは、こうした諸成果をさらに相乗させ、国際都市として飛躍しつつある本市の将来と国際間の親善平和に一層の貢献をするものであると存じます。

本市といたしましては、本市議会のご賛同ご支援をいただき、全市民の理解の上にたつて、きたる8月、夏季オリンピック大会の開催にあわせ、ミュンヘン市において、姉妹都市提携調印の運びをいたしたいと存じております。

よろしくお取り計らいくださるよう要請いたします。

### 札幌市とミュンヘン市との姉妹都市提携に関する決議

わが国北方圏における拠点都市をめざし、国際都市として大きく飛躍しつつある本市がドイツ連邦共和国バイエルン州ミュンヘン市との間に姉妹都市提携の締結をすることは、政治・文化・経済の各般にわたる交流を通じて、市民相互の友好を深め、両市の進展に寄与し、ひいてはこれが国際親善と世界平和に一層の貢献をすることを考えるとき、極めて意義深いものがあります。

特にミュンヘン市は、バイエルン州における首都であり、本市とほぼ同緯度に位置し、人口、規模、産業構造、さらには両市ともそれぞれ1972年の冬季及び夏季のオリンピック大会の開催地であるなど本市と非常に共通するものがあり、近年両市間の交流も頻繁に行われ、オリンピック大会を契機として、この姉妹都市提携締結の気運が急速に高まっております。

よって、市長におかれましては、全市民の理解と協力のもとに、札幌市とミュンヘン市との姉妹都市提携の締結を実現されるよう要望いたします。

上記につき決議する。

昭和47年6月26日

札幌市議会

### 札幌市とミュンヘン市との 姉妹都市提携に関する盟約書

オリンピック大会の開催によって結ばれた、日本国北海道札幌市とドイツ連邦共和国バイエルン州ミュンヘン市はたがい

自由に密接な連携を保ち、  
あらゆる分野で交流をすすめ、  
親善のきずなを強め、

国際間の平和と向上に寄与することを両市を代表する市長の名においてここに厳粛に宣言する。

ミュンヘンにて 1972年8月28日

ミュンヘン市長 ゲオルク クローナビッター  
札幌市長 板垣 武四



Die Landeshauptstadt München und die Stadt Sapporo vertreten durch ihre Bürgermeister, übernehmen am heutigen Tage im Zeichen der olympischen Verbundenheit die feierliche Verpflichtung, im Geiste der Freiheit miteinander dauernde Verbindung zu halten, den gegenseitigen Austausch auf allen Gebieten zu fördern und zu vertiefen, die freundschaftliche Verbindung weiter zu festigen und in echter Zusammenarbeit dem Frieden und

Fortschritt der Völker zu dienen.

München, den 28. August 1972

Landeshauptstadt München

Stadt Sapporo

Georg Kronawitter

Takeshi Itagaki

Oberbürgermeister

Oberbürgermeister



1972

昭和47年



姉妹都市提携調印式

- 8月28日 ●ミュンヘン市役所にて姉妹都市提携調印式が行われる。
- 北大講師クラウス・フォアデアヘルベッケ氏による提携記念講演会を開催。
- 8月～9月 ●提携記念写真展「ミュンヘン市とオリンピック」を開催。
- 10月 ●旭山公園にて「ミュンヘン市の森」植樹。
- 11月 ●市役所ロビーにて提携記念児童生徒絵画展を開催。市内小中学校から募集した作品122点を展示。
- 札幌交響楽団からミュンヘン市へ楽譜を送付。「時計台の鐘」「ペチカ」など10曲。

昭和48年



札幌・ミュンヘン都市提携委員会



ミュンヘン花壇(大通公園)

- 1月 ●北海道ユネスコ訪欧文化使節団一行がミュンヘンを訪問。
- 3月 ●札幌・ミュンヘン会設立総会が開かれる。
- 札幌・ミュンヘン都市提携委員会設立総会を開催。
- 4月 ●ミュンヘン市議ヴォルフガング・フォーゲルスゲザング氏が提携後初の訪問客として来札。
- 6月～8月 ●都市提携記念「世界アニマルドリーム博」を開催。
- 8月 ●ミュンヘンで第21回技能五輪国際大会が開かれる。
- 提携1周年を記念して大通公園に「ミュンヘン花壇」を造成。
- 10月 ●ミュンヘンから2名の親善使節が来札。バイエルンの歌と踊りを市民に披露。
- 都市提携記念写真コンテストを開催。

1974

昭和49年



豊水小学校とイトトリンガー通り小学校の姉妹校提携調印

- 2月 ●ミュンヘン地下鉄視察団(クローナビッター市長以下17名)が来札。
- 5月 ●ミュンヘン親善訪問団(クローナビッター市長夫妻ほか市議4名)が来札。
- 豊水小学校にて、同校とイトトリンガー通り小学校の姉妹校提携調印式が、ミュンヘン市長を迎えて行われる。
- 6月 ●ミュンヘン市から錫製絵皿、ミュンヘン市紹介写真295点が贈られる。これらの写真は一部パネル張りにし、各区役所、勤労青少年ホーム等で展示。
- 10月 ●「札幌」をテーマに都市提携記念写真コンテストを開催。
- 入賞及び入選作品50点をミュンヘン市に送付。

昭和50年



ミュンヘンから贈られた千羽鶴

- 6月 ●札幌姉妹都市親善演奏旅行団(板垣市長以下122名)がミュンヘンを訪問。レジデンツ(宮廷)で演奏会を行う。(札幌初の海外演奏)
- 7月 ●サッポロ・インターナショナル・アンサンブル一行50名がミュンヘンを訪問。ミュンヘン独仏合唱団と合同演奏を行う。また、両合唱団はミュンヘン市長立会いのもとで姉妹提携の調印をおこなう。
- 11月 ●ミュンヘンの折り紙グループから千羽鶴が贈られる。市立病院内のひまわり分校に寄贈。



札幌交響楽団初の海外公演

1976

昭和51年



マイbaum

- 2月 ●クローナビッター市長に札幌市名誉市民の称号を贈る。
- 5月 ●ミュンヘン市から「マイbaum」が贈られる。贈呈式には同市からギッテル副市長夫妻、ベック市議、フォーゲルスゲザング市議が参加。  
 ●ギッテル副市長一行を迎えて、真駒内緑小学校とミュンヘン市のディーゼル通り小学校の姉妹校提携調印式が行われる。
- 8月 ●ミュンヘン独仏合唱団60名が来札。姉妹コーラスであるサッポロインターナショナル・アンサンブルと合同演奏会を開催。  
 ●ミュンヘン成人学校一行24名が来札。
- 9月 ●ミュンヘン文化交流視察団40名がミュンヘンを訪問。「日本伝統の美」と題して、生け花、琴、茶道などを市民に披露する。
- 11月 ●札幌新音楽集団「群」(代表・佐藤岡豊さん)がミュンヘンで琴と尺八の演奏会を開催。

昭和52年



大雪像  
「ミュンヘン広場」



ハイデンライヒ副市長ら  
親善使節団が来札

- 2月 ●第28回さっぽろ雪まつりに大雪像「ミュンヘン広場」を制作。
- 7月 ●北海道近代美術館の開館を記念して「ミュンヘン近代美術展」が開かれる。  
 ●提携5周年を記念してミュンヘンから使節団が来札し、さまざまな記念行事が行われる。  
 ○ミュンヘンマリオンネット劇場(シャット団長以下6名)は札幌市人形劇場こぐま座のオープン1周年記念もかねて来札。  
 ○ミュンヘン市で5周年を記念して行われた写真コンテストの入賞作品を集めたミュンヘン写真展「ミュンヘンに生きる喜び」を丸井デパートで開催。
- 9月 ●ミュンヘン成人学校一行15名が来札。市民の家庭に民泊。5周年を記念して、またミュンヘン市から贈られた「マイbaum」のお返しとしてイチヨウの苗木300本を同市に贈呈。

1978

昭和53年



大谷短大の学生が実習したミュンヘン市内の幼稚園

- 3月 ●5周年記念誌「札幌・ミュンヘン都市提携5年のあゆみ」を発刊。
- 4月 ●(株)日本調理師倶楽部(会長・高橋祺三郎さん)とバイエルン州調理師会(会長・ジークフリート・シャーバーさん)で姉妹提携調印式をおこなう  
 ○精覚流(精進料理)の師範である高橋さんは、前年から弟子をレストラン「ミフネ」に派遣していたが、3月には本人も渡独し、同レストランで腕を振るっていた。滞在中に現地のコックと知り合い、それが縁でバイエルン州調理師会との提携に発展した。
- 5月 ●札幌大谷短大保育科学生一行がミュンヘン市を訪れ、市内の幼稚園を訪問し実習。
- 10月 ●ミュンヘン市のガス水道局イェルク・アルトネーダー氏が来札。

1979

昭和54年



ミュンヘン・アンサンブル協会のコンサート

- 8月 ●札幌市を16ミリフィルムで紹介した「美しきさっぽろ」をミュンヘン市に贈る。  
 ●真駒内緑小学校、豊水小学校が学校生活を撮影した8ミリフィルムを、それぞれ姉妹校に贈る。  
 ●札幌スポーツ少年団代表2名がミュンヘン市を訪問。
- 9月 ●ミュンヘン・アンサンブル協会が来札し、コンサートを開く。来札したのは、ロベルト・ヘルムシュロットさん夫妻、アンドラス・アドリヤンさん、エディト・ウルパンチェックさん。



昭和55年



ミュンとローラ



ミュンヘン文化週間で披露した日本舞踊

- 1月 ●ミュンヘン市のヘラブルン動物園からヨーロッパオオカミひとつがい(ミュンとローラ)が動物交換として円山動物園に贈られる。
- 2月・6月 ●ドイツ語講習会開催。(参加者60名)
- 3月 ●「ドイツ語ことば絵本」を発行。
- 7月 ●札幌市民芸術祭実行委員会が「ミュンヘン文化週間」に民謡と日本舞踊の代表者を派遣。一行37名は、市役所前広場や宮殿の中庭で北海道をはじめ、日本全国各地の民謡や踊りを披露。
- 8月 ●バイエルン州調理師会のコックが来札。プリンスホテルで腕を振るう。

昭和56年



中央区民センターの開館式に参加するキースル市長



ミュンヘン市の柔道クラブとの親善試合

- 3月 ●ミュンヘン市の外事課長リヒアルト・バハター氏と文化課長グラウス・ビーリンガー氏が来札。翌年の提携10周年記念事業について打合せをする。
- 4月 ●エーリッヒ・キースル市長夫妻と観光局一行の計11名が、提携10周年記念事業の打ち合わせなどを兼ねて来札。中央区民センターの開館式に参加。  
●ミュンヘン市グロスハーデルン地区柔道クラブ一行18名が来札し、親善試合を行う。
- 6月 ●札幌新音楽集団「群」、ミュンヘンでの2回目のコンサートを開く。
- 10月 ●国際庭園博事務局マルクス事務局長と2名のスタッフが来札。
- 11月 ●第1回ドイツ語暗唱大会を開催。(参加者36名)

昭和57年



姉妹都市10周年記念式典



ミュンヘンから来た「ゼップ・アイブル民俗楽団」



オクトーバーフェストに参加する札幌の使節団



サッポロウィーク開会式で披露した「紫会」の琴演奏

- 2月 ●雪まつり会場(真駒内)にミュンヘンのフラウエン教会を制作。
- 5月 ●提携シンボルマークを制定。
- 6月 ●第1回ドイツ語弁論大会を開催。
- 7月 ●10周年を祝いミュンヘン市から市長夫妻を含む、公式使節団(35名)、民俗音楽グループ(12名)、ミュンヘン・フィル八重奏団(8名)、ジャズバンド(6名)、ブラスバンド(16名)、市職員など計93名が来札。「ミュンヘンウィーク」が繰り広げられた。(7月23日～28日)
- 9月 ●札幌市から板垣市長夫妻をはじめ、公式使節団(36名)、邦楽・邦舞団(42名)、伝統芸術展示(43名)、花き市場一行(36名)、盆踊り団(52名)、柔道選手団(12名)、姉妹校生徒派遣団(6名)など約230名の札幌市民がミュンヘンを訪問。さまざまな交流活動を展開し、「サッポロウィーク」を盛り上げた。  
●北海道新聞社の招待により、ミュンヘン少年サッカーチーム(24名)が来札。
- 10月 ●札幌マラソンにミュンヘンから選手4名が参加。

1983

昭和58年



ミュンヘン市ウエストパーク内に「日本庭園」を造成

- 4月 ●ミュンヘン市で国際庭園博覧会が開催され、札幌市から日本庭園を出展。
- 5月 ●札幌大谷短期大学の保育科学生107名が、ミュンヘン市を訪問。現地の幼稚園を視察。  
●第1回ミュンヘン国際マラソン大会に選手団を派遣。
- 9月 ●札幌市サッカースポーツ少年団がミュンヘン市の招きで訪問。交流試合を行う。  
●ルードヴィッヒ・マクシミリアン大学のシュトッカー教授が北大客員教授として札幌に滞在。  
●第2回弁論大会開催。

1984

昭和59年



ミュンヘン市常設展示コーナー

- 1月 ●前年の国際庭園博覧会に出展した「日本庭園」が「ドイツ造園連盟大賞」を受賞。
- 6月 ●「1984年札幌国際見本市」開催。ミュンヘン、ポルトランド、瀋陽の3姉妹都市常設展示コーナー開設。
- 8月 ●札幌市民生局長がミュンヘン市を訪問。
- 9月 ●ミュンヘン・アンサンブルが札幌で公演。
- 10月 ●第3回ドイツ語弁論大会開催。  
●ミュンヘン・サッカーコーチが来札。講習会を行う。  
●ミュンヘン工科大学一行が来札。  
●第9回札幌マラソン大会にミュンヘン市の選手団が参加。
- 11月 ●東海大第四高校ブラスオーケストラがミュンヘン市で公演。

1985

昭和60年



ミュンヘンに贈った折り鶴とちょうちん

- 2月 ●ミュンヘン柔道チーム30名が来札。
- 4月 ●ミュンヘン経済使節団3名が来札。流通総合会館内のミュンヘン市コーナーの展示物入れ替えを行う。  
●ミュンヘン市のチューバ奏者が来札。演奏会を行う。
- 5月 ●ミュンヘン市第二次世界大戦終戦40周年記念式典に姉妹校連絡会が、折り鶴5,000羽、ちょうちん100個を寄贈。
- 6月 ●生け花使節団がミュンヘン市を訪問。
- 7月 ●西ドイツ車いすバスケットチームが来札。
- 8月 ●「札幌花と緑の博覧会」のミュンヘン庭園造成打合わせにミュンヘン市より関係者が来札。
- 9月 ●ミュンヘン市オクトーバーフェスト175周年大祭に神戸助役が出席。
- 10月 ●第4回ドイツ語弁論大会開催。

1986

昭和61年



花と緑の博覧会「ミュンヘン庭園」

- 1月 ●混声合唱団響友会63名によるミュンヘン公演。
- 6月 ●札幌市教育長が姉妹都市ジュニアスポーツ交流打合わせのためミュンヘン市を訪問。  
●「札幌花と緑の博覧会」開催。ミュンヘン庭園を出展。
- 7月 ●第2回姉妹都市親善ジュニアスポーツ交流女子中学生バレーボール大会開催。ミュンヘン市より17名が参加。  
●ミュンヘン市儀典課長が来札。  
●「札幌花と緑の博覧会」参加のため、ミュンヘン民俗舞踊団26名が来札。
- 10月 ●札幌市教育委員会指導室長および高校教師2名がミュンヘン市の教育事情を視察。  
●ミュンヘン・フィルハーモニー管弦楽団札幌公演。  
●第5回ドイツ語暗唱大会

1987

昭和62年



提携15周年式典



ミュンヘン展のオープニング



模型で我が街を説明するミュンヘン市長

- 5月 ●ミュンヘン・シティマラソンに札幌から選手を派遣。
- 6月 ●ミュンヘン市都市計画シンポジウム開催。
- 8月 ●クローナビッター市長を団長とするミュンヘン市公式使節団を迎え、盛大に札幌での姉妹都市ウィークを開催。  
●ミュンヘン市サッカーチームが来札。
- 9月 ●札幌からの親善使節団約500名がミュンヘンを訪れ、ミュンヘンでの姉妹都市ウィークに参加。提携15周年を祝う。  
●札幌市常設展示場がミュンヘンに開設。
- 10月 ●ミュンヘン・マラソン代表団が来札。

■札幌姉妹都市ウィーク(8月)

- ・15周年式典、祝賀会
- ・ミュンヘン展
- ・姉妹都市パネル展、児童絵画作品展
- ・影絵、オペラ
- ・ミュンヘン・フィル八重奏団コンサート

■ミュンヘン姉妹都市ウィーク(9月)

- ・第3回ジュニアスポーツ交流・女子水泳大会
- ・姉妹校生徒の派遣
- ・札幌市公式使節団訪問
- ・15周年記念パーティー
- ・文化プログラム開催



1988

昭和63年



ミュンヘンから贈られた人形

- 1月 ●ミュンヘン市少年アイスホッケー・チーム一行20名が、札幌開催の全国選抜大会に参加
- 8月 ●札幌市こども劇場「やまびこ座」オープンに際し、ミュンヘン市から記念の人形が寄贈される。  
●姉妹都市国際親善ジュニアスポーツ交流参加のため、ミュンヘンから15名の男子バスケットボールチームが来札。  
●「札幌ドイツセミナー」開催。ドイツ文化展、ドイツ語集中講座などを行う。
- 9月 ●札幌少年サッカー・ミュンヘン親善使節団一行25名がミュンヘン市を訪問。
- 10月 ●札幌ジュニア体操クラブ一行13名が親善交流のためミュンヘン市訪問。
- 12月 ●ミュンヘン市のバイエルン州立歌劇団が来札。公演し、大好評を得る。

1989

平成元年



「群」ミュンヘンコンサート

- 3月 ●北海道歩くスキー協会親善使節団がミュンヘン市を訪問。  
●ミュンヘン市建設局職員3名が道路行政視察のため来札。
- 5月 ●ミュンヘン市ジュニア体操クラブ一行15名が親善交流のため来札。
- 8月 ●第8回ドイツ語暗唱大会を開催。
- 11月 ●札幌新音楽集団「群」がミュンヘンでコンサート実施。



1990

平成2年



ミュンヘン市の高校生が来札

- 10月 ●ミュンヘン市の高校生2名が日独文化交流事業で来札。新川高校を親善訪問。
- 札幌市の高校教員4名が教育研修でミュンヘン市訪問。
- 11月 ●北海道青少年団体連絡協議会派遣研修グループ90名がミュンヘン市訪問。
- 12月 ●第9回ドイツ語暗唱大会開催。

平成3年



ミュンヘン大橋開通

- 7月 ●ミュンヘン市からフォローリスト(花き研究家)が研修のため来札。
- 8月 ●姉妹都市国際親善ジュニアスポーツ交流(女子バスケットボール)参加のため、ミュンヘン市の選手団が来札。
- 11月 ●ミュンヘン大橋開通。
- 第10回ドイツ語暗唱大会開催。



1992

平成4年



訪問団を迎えるミスさっぽろ

- 6月 ●コム博国際交流館にミュンヘン市が出展。出展準備のため、同市観光局職員2名が来札。
- 7月 ●ミュンヘンの女子学生エスター・シュミットさん、HBCで研修。
- ミュンヘンの女子学生ベアテ・コマンダーさん、札幌で長期ホームステイ。
- 姉妹都市20周年を記念し、ミュンヘン市長を代表団とする公式使節団(8名)、民族音楽団フラウン・ホイツァ(5名)、ミュンヘン市電の会(2名)が来札。



民族音楽団「フラウン・ホイツァ」の演奏

- 8月 ●札幌で姉妹都市提携20周年の提携記念式典実施。
- PMFにバイエルン放送交響楽団が出演。
- 札幌ドイツセミナーを開催。
- 男子バレーボールを種目とする「92姉妹都市国際親善ジュニアスポーツ交流」がミュンヘン市で開催される。ポートランド、ミュンヘン、ノボシビルスクチームが参加し、ノボシビルスクチームが優勝。

- 9月 ●姉妹都市提携20周年を記念して桂市長を団長とする親善訪問団476名がミュンヘンを訪問。(議員団、文化団体、姉妹校訪問団等)
- 市立高校教員4名が、海外派遣研修でミュンヘン市訪問。



札幌を走る「ミュンヘン電車」

- 10月 ●北電社員秋山さんが、ミュンヘン市観光局訪問。
- ミュンヘン・フィルハーモニーのファゴット奏者、フリードリヒ・エーデルマンさんら3名によるコンサートを大谷記念ホールで実施。

- 11月 ●第11回ドイツ語暗唱大会開催。



ミュンヘンを走る「姉妹都市札幌号」



1993

平成5年



ドイツ料理講習会

- 6月 ●札幌市建設局職員2名がミュンヘン市を視察。  
●第4回札幌国際見本市にミュンヘンからインターコム社が出展。
- 7月 ●フィギュアスケート国際交流大会に参加のため、ポートランド選手団、父母団及びミュンヘンスケートクラブチームが来札。
- 8月 ●「札幌ドイツ月間」を開催。(ドイツ料理講習会、ドイツ文化展、ドイツビデオ上映、ドイツ文化講演会、ドイツ語集中講座)  
●丸井今井ドイツ展に参加のため、ミュンヘンのマイスター来訪。  
●環境局職員がミュンヘン市を視察。  
●北電社員がミュンヘンを研修訪問。
- 9月 ●北海道地域デザイン研究会一行10名がミュンヘン訪問。  
●札幌市弓道連盟創立60周年にミュンヘン市のイザール道場一行9名が来訪。  
●札幌市電の会一行4名がミュンヘン市訪問。  
●都市交通体系調査団一行がミュンヘン市訪問。
- 11月 ●ミュンヘン市都市計画課長ヴァルター・ブーザー氏が講演会のため来札。
- 12月 ●第12回ドイツ語暗唱大会開催。

1994

平成6年



ドイツ語暗唱大会

- 1月 ●北海道職員がミュンヘン市を研修訪問。
- 4月 ●ミュンヘン市成人学校一行14名が日本語研修、日本文化体験のため札幌訪問。
- 5月 ●札幌市・ミュンヘン市少年サッカー交流大会に選手・指導者・父母36名が来札。
- 8月 ●札幌ドイツセミナー開催。
- 10月 ●市立学校教職員一行4名がミュンヘン市の教育現場を視察。  
●市経済局職員3名がミュンヘン市を視察。
- 11月 ●第13回ドイツ語暗唱大会開催。  
●市下水道局職員2名がミュンヘン市を視察。  
●ミュンヘンで通訳業を営むシュミット村木さん来札。
- 12月 ●「市民海外姉妹都市派遣事業」入選者の河中優郁子さんがミュンヘン市で研修。

1995

平成7年



阪神大震災チャリティーコンサート

- 1月 ●市建設局職員がミュンヘン市視察。
- 2月 ●市環境局職員がミュンヘン市のごみ対策視察。
- 3月 ●北海道熱供給公社職員ら一行10名がミュンヘン市視察。
- 7月 ●「ミュンヘン室内楽の夕べ」阪神大震災チャリティーコンサート開催。ミュンヘン・フィル・ファゴット奏者とチェリスト、ピアニスト来札。
- 9月 ●札幌大学女子短期大学部一行23名が研修のためミュンヘン訪問。
- 10月 ●札幌・ミュンヘン少年サッカー交流選手団がミュンヘン市訪問し親善試合。  
●市民海外姉妹都市派遣事業で、櫻井嘉子さんがミュンヘン市の福祉関連施設を視察。
- 11月 ●ハイネの夕べ開催。  
●第14回ドイツ語暗唱大会を開催。

1996

平成8年



国際交流コンサート

- 4月 ●札幌国際交流館オープン記念「国際交流コンサート」開催。ミュンヘン・フィル・ガスタイクアンサンブル6名来札。
- 5月 ●札幌市議会議員、高齢者対策視察のためミュンヘン訪問。
- 8月 ●ミュンヘン成人学校受講生一行来札。  
●大ドイツ展マイスター来札。
- 9月 ●ミュンヘン西公園の日本庭園手入れのため、環境局長以下17名(業界含む)ミュンヘン市訪問。
- 10月 ●市立高校教員ミュンヘン市学校教育視察。  
●道職員ミュンヘン市視察。
- 11月 ●第15回ドイツ語暗唱大会を開催。



平成9年



25周年祝賀会



習字体験



「ユーロ・ゴールドカップ」

- 2月 ●雪まつりで大雪像「バイエルンナショナル博物館」制作。  
 ●北海道職員1名が労働政策調査のためミュンヘン市訪問。
- 4月 ●ミュンヘン・フィルハーモニー札幌公演。(1日、厚生年金会館)  
 ●芸術の森美術館で「カンティンスキー&ミュンター展」開催。(4/4~5/25)
- 5月 ●百合が原公園ミュンヘン庭園整備のため、ミュンヘン市造園部長ヘルムート・アンマー氏ら造園技術者8名来札。滞在中、造園部長が「緑化政策への市民参加について」講演。  
 ●姉妹都市提携25周年記念事業参加のため、ウーデ市長率いるミュンヘン市代表团19名と、文化交流団18名が来札。  
 ●ミュンヘン市環境局長ヨアヒム・ロレンツ氏を招聘し、環境シンポジウム「環境保全型都市をめざして」を開催。市民約200名が参加。(22日)  
 ●「ミュンヘン・音楽の夕べ」開催。(24日)民族音楽団「ホーフィシュ・パウアーン・ムジーク」民族合唱団「メンツィンガー・ゼンガー」と「エーデルマントル」が出演。
- 6月 ●姉妹都市提携25周年記念札幌市訪問団がミュンヘン市訪問。桂市長一行4名、市議会議員団10名、環境視察団28名、文化交流団10名、WTC経済視察団19名、「ミュンヘン親善の翼」に参加した札幌市民など合計約150名。  
 ●ミュンヘン市旧市庁舎で山田流賀寿美会が演奏会を開催。(21日)日本伝統音楽(琴、尺八、三味線)を紹介。  
 ●札幌在住ピアニスト谷本聡子さんとバイエルン国立歌劇場チェリストフランツ・アマン氏が、ミュンヘン市旧市庁舎でジョイントのコンサート開催。(20日)
- 7月 ●姉妹都市国際親善ジュニアスポーツ交流として札幌市内の中学生選抜チーム(16名)が、少年サッカー大会「第2回ユーロ・ゴールドカップ」に参加。  
 ●南ドイツ新聞女性フォトジャーナリストの写真展「閉ざされた社会」開催。(7月21日~8月3日、札幌市写真ライブラリー)  
 ●HBC少年少女合唱団がミュンヘン市を訪問し、ミュンヘン少年少女合唱団とジョイントコンサートを開催。(25日、ミュンヘン旧市庁舎ホール)



ミュンヘン・オラトリエン合唱団が札幌市役所で歌声を披露



「ミュンヘン・スタディーツアー」



「999人の第九」の会

- 8月 ●ミュンヘン少年合唱団35名が来札し、HBC少年少女合唱団とジョイントコンサート開催。(9日、札幌コンサートホール)  
 ●大ドイツ展マイスター来札。
- 9月 ●ミュンヘン・オラトリエン合唱団23名が来札し、ボランティア合唱団「999人の第九」の会とジョイントコンサート開催。(28日、札幌コンサートホール)
- 10月 ●ボランティア合唱団「999人の第九」の会がミュンヘンを訪問し、ミュンヘン・オラトリエン合唱団とジョイントコンサート開催。(11日、ヘラクレスホール)  
 ●「札幌国際プラザ・ミュンヘン・ステディーツアー」で18名の市民がミュンヘンを訪問。
- 11月 ●姉妹校訪問団10名が、ミュンヘン市の姉妹校を訪問。  
 ●札幌市教育委員会教育長一行5名が、ミュンヘン市視察。  
 ●北海道職員2名が文化交流状況調査のため、ミュンヘン市訪問。  
 ●第16回ドイツ語暗唱大会開催。

1998

平成10年



見本市「住まいと手芸」札幌コーナー

- 10月
  - 市立高校教員3名がミュンヘン市の学校を訪問。
  - 北海道職員1名がミュンヘンの造園について視察。
  - 北海道職員2名がミュンヘンの福祉について視察。
  - 第17回ドイツ語暗唱大会を開催。
  - 百合が原公園ミュンヘン庭園にテーブル(10卓)と椅子(40脚)が寄贈。
- 11月
  - ミュンヘン市教育局長一行5名が来札。ミュンヘン経済職業上級学校と市立高専との間で交流確認書交換。
  - 札幌市職員4名がミュンヘン市の下水、環境、消防について視察。
  - ミュンヘン新見本市会場で開催された見本市「住まいと手芸」に札幌コーナーが設置され、札幌から染色家、陶芸家等7名が参加。

平成11年



ミュンヘン庭園情報パネル



豊水小学校での給食体験

- 1月
  - 百合が原公園ミュンヘン庭園に情報パネルが寄贈。
- 4月
  - 札幌市環境協議会一行10名がミュンヘン視察。
- 6月
  - ミュンヘン市環境教育専門家1名が来札。
  - ミュンヘン市交流計画部副部長が来札し、「都市交通のあり方」について講演。
- 7月
  - ミュンヘン市労働経済局職員が札幌市で研修。(～11日)
- 8月
  - ミュンヘン成人学校日本語講座受講生一行17名が来札。
- 9月
  - 市立高専教授がミュンヘン経済職業上級学校を訪問し、「交流のあり方」について協議。
  - ブルケルト副市長夫妻が来札。福祉施設、小学校等を訪問。
- 10月
  - 北海道警察職員2名が国際警察協会ミュンヘン支部40周年記念式典に参加のためミュンヘン訪問。
  - 札幌市職員3名がミュンヘン市の女性参画について視察。
- 11月
  - 市立豊水小学校教諭がミュンヘン市の環境教育等について視察。
  - 第18回ドイツ語暗唱大会。

1999

2000

平成12年



「札幌社会人サッカー連盟選抜チーム」と「TSVグロースハーデルン」

- 4月
  - 国立ヴァイエンシュテファン花き芸術専門学校一行19名が来札し、フラワーアレンジメントに関するイベント開催。
- 5月
  - 豊水小学校教諭2名が姉妹校提携26周年を記念し、イットリンガー通り小学校を訪問。
- 9月
  - 札幌出身バリトン歌手木村俊光さんがミュンヘン国際音楽コンクール審査員としてミュンヘンを訪問。
- 10月
  - 第19回ドイツ語暗唱大会を開催。
- 11月
  - 札幌社会人サッカー連盟選抜チーム役員10名、選手17名がミュンヘンを訪問しTSVグロースハーデルンと親善試合。

平成13年



ミュンヘンと姉妹都市のカントリーサイン

- 3月
  - ドイツ望郷公園へカントリーサインを寄贈。
  - HBCジュニアオーケストラが親善交流のためミュンヘンを訪問。
- 5月
  - 札幌市議会議員3名がミュンヘンの学校における歴史教育について視察。
- 6月
  - 朝日茨戸レガッタ大会にミュンヘンの選手4名が参加。
- 8月
  - ミュンヘン成人学校日本語講座受講生一行が、札幌において日本語研修。
  - 北海道国際ユースサッカー大会にミュンヘン1860ユースチームが参加。
  - 国際親善ジュニアスポーツ姉妹都市交流としてサッカー選手16名、役員3名が来札。
- 10月
  - 「札幌マラソン」に参加のため、ミュンヘンから選手2名、引率者1名が来札。
  - 「ミュンヘン・メディアマラソン」に参加のため札幌から選手2名、引率1名がミュンヘン訪問。
  - 第20回ドイツ語暗唱大会を開催。



平成14年



ミュンヘンで行われた日本祭り



ヨサコイの踊りに挑戦するミュンヘン市民



女子柔道のスポーツ交流

- 2月 ● さっぽろ雪まつりで大氷像「バイエルン州立歌劇場」制作。
- 7月 ● 札幌のYOSAKOIソーランチーム12名が、ミュンヘンで開かれた日本祭りに参加。  
● 札幌・ミュンヘン姉妹都市提携30周年を記念し、札幌市長、札幌市議会議員団(11名)、ジュニアスポーツ交流選手・役員団(中学生女子柔道16名)、市民交流団(51名)がミュンヘン市を訪問。記念式典などに出席。
- 8月 ● 北海道国際ユースサッカー大会にミュンヘン1860U-16チーム24名が参加。  
● 札幌市建設局職員3名が道路行政視察のためミュンヘン訪問。
- 9月 ● ミュンヘン市貯蓄銀行において、「ミュンヘン・札幌姉妹都市提携30周年展」開催。  
● 環境教育視察団5名がミュンヘン訪問。  
● ミュンヘン在住のテキスタイル芸術家が来札し、「テキスタイル芸術展」開催。(芸術の森センターロビー、市役所ロビー)
- 10月 ● 「ローゼンインゼル・レガッタ」に参加のため、札幌などから選手5名がミュンヘン訪問。  
● 「ミュンヘン・メディアマラソン」に参加のため、札幌から35名がミュンヘンを訪問。  
● 「第21回ドイツ語暗唱大会」開催。



第1回「ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo」



クリスマス市のオープニングセレモニーに出席する訪問団一行



30周年記念式典でのミュンヘン市代表者の挨拶

- 11月 ● 札幌・ミュンヘン姉妹都市提携30周年を記念し、ミュンヘン市代表団、こども環境交流団、環境シンポジウム団、民族音楽団が来札。  
● 大通公園で「ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo」初開催。ミュンヘン市からの各訪問団がオープニングセレモニーに参加。  
● 札幌・ミュンヘン姉妹都市提携30周年記念祝賀会開催。  
● 札幌コンサートホールで「バイエルン・室内楽アンサンブル」(民族音楽団)が演奏会開催。  
● 「国際環境シンポジウム」を開催。ミュンヘンの環境NGOから3名のパネリストが参加。
- 12月 ● ミュンヘン音楽家3名が、ヨーロッパ洪水被災者のための慈善コンサートを札幌で開催。  
● ミュンヘンに姉妹校を持つ札幌の小中学校の生徒、教師10名が姉妹校訪問のためミュンヘン市を訪れる。



2003

平成15年



クリスマス市でミュンヘンの文化を紹介する「文化伝道師」

- 5月 ●ミュンヘン市保育士一行34名が幼児教育研修のため札幌の幼稚園などを視察。
- 6月 ●ミュンヘン市民大学日本語講座の受講生ら16人が研修で札幌を訪れ、市民と交流。
- 7月 ●ミュンヘンを手本に作られた食器洗浄車アラエール号の貸出しが始まる。
- 8月 ●北海道国際ユースサッカー大会にミュンヘン1860ユースチームが参加。
- 10月 ●札幌市サッカースポーツ少年団チーム一行22名がミュンヘンに遠征。  
●「第22回ドイツ語暗唱大会」開催。
- 11月 ●「ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo」が開催され、ミュンヘン市代表団・音楽団4名が来札。ドイツからは13業者が出展。会場では「文化伝道師」と呼ばれるドイツ人がミュンヘンに関するクイズやドイツ文化の紹介を行った。

平成16年



「かんきょうみらいカップ」でのサッカー交流



ミュンヘン・クリスマス市「ヴァイナハツ・パビリオン」

- 2月 ●札幌市職員2名が市民自治の研修のためミュンヘンを訪問。
- 3月 ●札幌市職員1名が都市計画についての視察のためミュンヘンを訪問。
- 5月 ●ミュンヘン市より、ボーイスカウト、ガールスカウト18名が来札。キャンプやYOSAKOIソーラン祭を通して札幌のスカウトと交流。
- 8月 ●サッカーチーム1860ミュンヘン(U-16)の選手が、札幌市環境局主催の「かんきょうみらいカップ2004」に参加。
- 10月 ●「第23回ドイツ語暗唱大会」開催。
- 11月 ●「ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo」が開催され、ミュンヘン市議会議員ユッタ・コツラ氏が来札。ドイツから10業者が出展。また、ミュンヘンの文化を紹介する文化交流館「ヴァイナハツ・パビリオン」を会場内に設置。  
●札幌市職員1名が社会福祉政策の研修のためミュンヘンを訪問。  
●札幌市消防職員2名がロープレスキューの視察のためミュンヘンを訪問。

2005

平成17年



「ドイツ年ペイント電車」出発式



80点のパネルが展示された「ドイツ観光パネル展」



札幌市内の学校を視察するシュタツホヴィッツ議員



ミュンヘン・クリスマス市で使用したリターナブル食器

- 2月 ●ドイツ・オーベルストドルフにノルディックスキー大会視察の折に、札幌市長一行4名がミュンヘン市を訪問。
- 8月 ●サッカーチーム1860ミュンヘン(U-16)の選手が、札幌市環境局主催の「かんきょうみらいカップ2005」に参加。
- 10月 ●「第24回ドイツ語暗唱大会」開催
- 11月 ●2005年の「日本におけるドイツ年」に際し、マイバウムやフラウエン教会などミュンヘン市の代表的な建造物などをデザインした市電を運行。  
●札幌市役所ロビーにて「ドイツ観光パネル展」を開催。  
●「ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo」が開催され、ミュンヘン市議会議員シュタツホヴィッツ氏と、チター奏者フーバー氏、スタッフ1名が来札。また、ドイツから12業者が出展。  
●ミュンヘンの取り組みにならない、ミュンヘン・クリスマス市でリターナブル食器の導入を開始。

平成18年



エーデルマン氏夫妻の観覧会での演奏



ミュンヘン庭園の手入れをする  
あいの里東小学校の児童



こどものまち「ミニミニさっぽろ」



キルトの説明をするバツハ氏

- 3月 ●ドイツ語暗唱大会優勝者榎本夕佳里さんがミュンヘン市を訪問。
- 春～秋 ●あいの里東小学校の児童が総合学習の一環として百合が原公園内ミュンヘン庭園の管理に携わる。
- 5月 ●ミュンヘン・フィルハーモニー首席ファゴット奏者フリードリッヒ・エーエルマン氏とチェロ奏者レベッカ・ラスト氏が来札し、観覧会などで演奏。  
●「北海道キルトウィーク2006」の『ミュンヘン-札幌フレンドシップキルト展』にミュンヘンのキルト職人ドルテ・バツハ氏が参加。
- 6月 ●YOSAKOIソーラン北海道学生合同チーム「北人」のメンバー15名がW杯サッカードイツ大会を盛り上げるため、ミュンヘンにて演舞を披露。
- 8月 ●国際親善ジュニアスポーツ姉妹都市交流事業として女子バスケットボール選手13名、引率3名が来札。  
●サッカーチーム1860ミュンヘン(U-16)の選手18名と随行4名が、札幌市環境局主催の「かんきょうみらいカップ2006」に参加。
- 9月 ●ミュンヘンの「ミニ・ミュンヘン」を手本としたこどものまち「ミニミニさっぽろ2006」が札幌で開催され、2日間で3400名の児童が参加した。
- 10月 ●「第25回ドイツ語暗唱大会」開催。
- 11月 ●「ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo」が開催され、ミュンヘン市議会議員ブルンナー氏、チター奏者フーバー氏、他2名が来札。また、ドイツから9業者が出展。  
●ミュンヘン出身のチター奏者フーバー氏が、札幌市役所でロビーコンサートを開催。



チター奏者のロビーコンサート

平成19年



中央卸売市場を見学するミュンヘンからの訪問団



ミュンヘンの街を楽しむ札幌市民訪問団



ジュニアスポーツ交流の選手団

- 3月 ●ドイツ語暗唱大会入賞者中野美香さんと同伴者1名がミュンヘン市を訪問。  
●札幌の青年1名が、サッカーチーム「1860ミュンヘン」ユースチーム研修参加のためミュンヘンへ出発。
- 春～秋 ●百合が原公園内ミュンヘン庭園の改修を行う。  
●あいの里東小学校の児童が総合学習の一環として百合が原公園内ミュンヘン庭園の管理に携わる。
- 5月 ●ミュンヘン市民大学で日本語を学ぶ研修生一行16名が来札。
- 7月～8月 ●札幌夏まつり大通納涼ガーデン11丁目に、ミュンヘンビールなどを扱う「札幌ドイツ村」が登場。
- 8月 ●新札幌駅ショッピングモール内でドイツ観光紹介や飲食販売を行う「新さつミュンヘン夏市」を開催。  
●サッカーチーム1860ミュンヘン(U-16)の選手18名と随行4名が、札幌市環境局主催の「かんきょうみらいカップ2007」に参加。  
●北区高齢者大学「北親大学」でミュンヘン紹介セミナーを実施。
- 8月～9月 ●国際親善ジュニアスポーツ姉妹都市交流事業として男子中学生バスケットボール選手12名、引率4名がミュンヘンへ遠征。
- 9月 ●札幌・ミュンヘン姉妹都市提携35周年を記念し、札幌市長団(7名)、札幌市議会議員団(10名)、経済交流団(3名)がミュンヘン市を訪問し、記念式典などに参加。  
●ミュンヘンの「ミニ・ミュンヘン」を手本としたこどものまち「ミニミニさっぽろ2007」が札幌で開催され、2日間で4,428名の児童が参加した。
- 10月 ●札幌市民訪問団22名がミュンヘンを訪問。  
●ミュンヘンに姉妹校を持つ小中学校3校から計8名がミュンヘンを訪問し、姉妹校への訪問等を行った。
- 11月 ●「ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo」に、ミュンヘン市民からのメッセージ13通が届く。ドイツからは6業者が出展。  
●西区ちえりあにて、姉妹都市紹介の講演を実施。
- 12月 ●豊平区高齢者大学「創造学園」でミュンヘン紹介のセミナーを実施。

2008

平成20年



ミュンヘン市開基850周年記念式典



ミュンヘン市内の姉妹都市花壇

- 3月 ●ドイツ語暗唱大会優勝者、岩崎修子さんをミュンヘン市へ派遣。
- 6月 ●ミュンヘン市内ウエストパーク内にある姉妹都市花壇造成のため、造園技術者4名を派遣。  
●ミュンヘン市開基850周年式典に札幌市が招待され、上田市長がミュンヘン市を訪問。  
●札幌市で開催されたG8大学サミットにミュンヘン大学が参加。  
●札幌市主催の「子ども環境サミット札幌」に、ミュンヘンから5名が参加。
- 8月 ●札幌稲積中学校と姉妹校であるミュンヘン市マクシミリアム・ギムナジウム校の卒業生3名が来札。ホームステイを通じて、日本の生活を体験。
- 10月 ●「第27回ドイツ語暗唱大会」開催。

2009

平成21年



ミュンヘン市民大学研修生の市長表敬訪問



ボブ・ロス氏指揮により演奏を行う開成高校吹奏楽部

- 2月 ●ドイツ語暗唱大会優勝者、佐藤稔さんをミュンヘン市へ派遣。
- 6月 ●ミュンヘン市民大学で日本語を学ぶ研修生一行23名が来札し、ホームステイや日本文化の体験を実施。
- 7月 ●ミュンヘンからスポーツ少年団リーダー7名と指導員1名が研修のため来札。
- 8月 ●北海道札幌開成高校吹奏楽部が、ミュンヘン・フィルのボブ・ロス氏を札幌に招いて演奏会を開催。
- 10月 ●「第28回ドイツ語暗唱大会」開催。

2010

平成22年



第29回ドイツ語暗唱大会の入賞者

- 1月 ●ドイツ語暗唱大会優勝者、長谷川円香さんをミュンヘン市へ派遣。
- 11月 ●「第29回ドイツ語暗唱大会」開催。

2011

平成23年



国際ロータリー1840地区派遣団の市長表敬訪問



地下歩行空間で開催された「クリスマス・マルシェ」

- 3月 ●ドイツ語暗唱大会優勝者、原野有佳さんをミュンヘン市へ派遣。
- 7月 ●ミュンヘン・フィル主席ファゴット奏者フリードリヒ・エーデルマン氏とチェリストレベッカ・ラスト氏による「東日本大震災追悼“Ganbare Nippon”コンサート」開催。
- 10月 ●ミュンヘン市の国際ロータリー1840地区の派遣団が職業研修プログラムに参加するために来札。
- 11月 ●「ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo」が開催10回目を迎え、新たに札幌駅前通地下歩行空間をサテライト会場に加えて実施。
- 12月 ●「ドイツ語を楽しむ会～グリム童話編」開催。

2012

平成24年



ミュンヘン市長表敬訪問



ミュンヘン市民大学研修生による市長表敬訪問



オータムビアフェスト2012で来賓挨拶をするゲルティンガー代表

- 5月 ●ミュンヘン市民大学で日本語を学ぶ研修生一行13名が来札。  
●ミュンヘンセミナー～美術・文化編～を開催。  
●国際ロータリー2510地区(北海道西部)職業研修プログラム派遣団がミュンヘン市等を訪問(し、上田市長の親書を渡す)。
- 6月 ●ドイツ・ミュンヘンセミナー～生活編～を開催。
- 8月 ●ドイツ・ミュンヘンミニセミナー～ビアガーデン編～を開催。
- 9月 ●札幌・ミュンヘン姉妹都市提携40周年を記念し、札幌市長団(8名)、札幌市議会議員団(14名)、札幌商工会議所訪問団(8名)、市民訪問団(33名)等がミュンヘン市を訪問し、記念式典などに参加。  
●サッポロファクトリーにて「オータムビアフェスト2012」を開催。開会式では、姉妹都市提携40周年を記念し、「カンパイセレモニー」を実施。
- 10月 ●ドイツ・ミュンヘンを知るセミナー～環境編～を開催。
- 11月 ●国際親善ジュニアスポーツ姉妹都市交流事業として市内の中学生バドミントン選手など12名の札幌市選手団がミュンヘンへ遠征。  
●ドイツ国家公認宝飾細工師マイスター武市知子氏によるセミナー・作品展等を開催。  
●「第11回ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo」を開催。姉妹都市提携40周年を記念して、新たにさっぽろテレビ塔やサッポロファクトリーを会場に加えて実施。
- 12月 ●「第2回ドイツ語を楽しむ会～グリム童話編～」開催。

2013

平成25年



- 6月 ●ドイツを知るセミナー～作ってみよう、ドイツの定番料理!～を開催。
- 7月 ●ドイツ・ミュンヘンミニセミナー～ビアガーデン編～を開催。
- 10月 ●ミュンヘン市議会議員レナー氏とドイツ環境自然保護連盟(BUND)ミュンヘン支部副代表のヘンゼル氏による、環境エネルギー政策についての講演会を開催。

2014

平成26年



- 2月 ●ドイツ語を楽しむ会～グリム童話編～を開催。
- 7月 ●ドイツ・ミニセミナー～ビアガーデン編～を開催。

2015

平成27年



- 3月 ●ドイツ語を楽しむ会～グリム童話編～を開催。
- 8月 ●ドイツ・ミニセミナー～ビアガーデン編～を開催。
- 10月 ●「バイエルンと日本の歌三姉妹」コンサートを開催。

2016

平成28年



- 1月 ●ミュンヘン市教育スポーツ局のシュテファニー職員が教育制度などを学ぶために来札。
- 3月 ●ドイツ語を楽しむ会～グリム童話編～を開催。
- 8月 ●レッツトークドイツ語スペシャル～ドイツの音楽について話そう～を開催。

2017

平成29年



- 2月 ●ドイツを知るセミナー～知る人ぞ知るドイツの作曲家～を開催。
- 3月 ●「ドイツ語を楽しむ会」を開催。
- 7月 ●福祉協賛ビアガーデン8丁目会場にて、映像放映やうちわ配布による姉妹都市提携45周年PRを実施。  
●ドイツを知るセミナー～バイエルンの歌と料理を楽しみましょう!～を開催。



- 9月 ●札幌・ミュンヘン姉妹都市提携45周年を記念し、札幌市長団(6名)、札幌市議会議員団(15名)、経済訪問団(13名)がミュンヘン市を訪問し、記念式典などに参加。  
●ローゼンインゼル・レガッタ出場のため、札幌から選手5名がミュンヘンを訪問。
- 10月 ●市民訪問団(21名)がミュンヘンを訪問。現地で「記念コンサート・交流会 ～札幌より愛を込めて～」を開催。  
●「オータムピヤフェスト2017」において、姉妹都市提携45周年記念スペシャル料理を販売。
- 11月 ●記念コンサート「室内楽の夕べ in 豊平館」を開催。  
●姉妹都市提携45周年を記念し、ミュンヘン市訪問団3名が来札し、記念祝賀会などに参加。  
●「第16回ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo」のオープニングセレモニーにミュンヘン市訪問団3名が出席。  
●札幌国際プラザにてミュンヘン交流事業報告会を開催。
- 12月 ●姉妹都市提携45周年記念パネル展を開催。

2018

平成30年



- 1月 ●国際親善ジュニアスポーツ姉妹都市交流事業として市内の中学生女子バスケットボール選手など18名の札幌市選手団がミュンヘンへ遠征。
- 2月 ●札幌国際スキーマラソンにミュンヘンの選手団が参加。  
●ドイツ語を楽しむ会～バイエルン方言編～を開催。

# 札幌に残るミュンヘンの足跡

～姉妹都市交流から生まれました～

45年の間、多くの市民が札幌からミュンヘンへ、そしてミュンヘンから札幌へと往来し、お互いの文化を学び合うとともに、その交流はまちづくりにも活かされてきました。

両市の交流から生まれ、私たち札幌市民に親しまれ続けているものが、札幌の街にたくさん残っています。

## ■マイバウム (1976年～)

マイバウムはドイツ語で「5月の木」を意味し、樹木に宿る精霊が病気や悪霊から家や家畜を守り、豊穡をもたらすという伝承のある飾り木です。

大通公園のマイバウムは、姉妹都市提携5周年を記念して、1976年にミュンヘン市から贈られました。



## ■こぐま座 (1976年～)

こども人形劇場・こぐま座は、公立としては日本で初めて造られた人形劇の専門劇場で、昭和51年7月に中島公園に誕生しました。

当時の板垣札幌市長が姉妹都市のミュンヘンを訪れた折、目を輝かせて人形劇を見入っている子どもたちの姿に感動を受け、札幌にもぜひ人形劇場を造りたいということから、全国初の公立人形劇場が生まれました。



## ■ミュンヘン大橋 (1991年～)

豊平川の南31条にかかるミュンヘン大橋は、市内で初めて外国名を採用した橋です。架橋事業の着手が姉妹都市提携15周年にあたること、また、本橋梁の構造が「斜張橋」というドイツを中心に発展した形式であることから命名されました。

この橋には、「国際化」への市民意識高揚のシンボルとなるようにと願いが込められています。



## 札幌に残るミュンヘンの足跡

## ■ミュンヘン・クリスマス市 (2002年～)

ドイツの伝統行事「クリスマス市」を札幌市民にも楽しんでもらいたいというミュンヘン市の提案で、姉妹都市提携30周年にあたる2002年に始まったのがミュンヘン・クリスマス市 in Sapporoです。

はるばるドイツからもクリスマス飾りやソーセージなどを売る出店者が訪れ、大通公園にひと足早いクリスマスを運びます。



## ■ミニさっぽろ (2006年～)

子どもが市民となり運営する仮想のまちミニさっぽろ。2017年は2日間で市内の小学3・4年生3,422名が参加し、職業体験や生活体験などを通じて社会のしくみを学びました。「ミニさっぽろ」はミュンヘンで開かれている子どものまち「ミニ・ミュンヘン※」を手本に2006年に始まったものです。



※ミニ・ミュンヘンとは

1979年の国際児童年にミュンヘン市で始まった、子どもだけで運営される仮想のまちです。2年に1度、夏休みの3週間開催され、7歳から15歳が参加できます。600種類の職種が揃っているだけでなく、流通システムや納税、選挙権、営業許可、婚姻などの制度もあり、本格的な社会体制ができています。

## ■オータムビヤフェスト (2012年～)

収穫の秋の魅力や、札幌らしいビールの楽しみ方を伝えるオータムビヤフェスト。姉妹都市提携40周年の2012年から毎年サッポロファクトリーを会場に開催しています。

会場では、ドイツ産の原料を使用した限定ビールやドイツ料理を販売。ステージイベントで盛り上がる会場で、ドイツ料理を思う存分味わうことができます。



# ミュンヘン市の概要

# München

ミュンヘン市の概要



## ● 地 勢

ドイツの南部に位置する同国最大の州・バイエルン州の州都であるミュンヘン市は、北緯48度8分、東経11度34分に位置し平均海拔530mに位置します。

バイエルン/オーストリアアルプスの山々が約60km南に横たわり、ここを源とするイザール川が街を貫き、ドイツアルプス地帯からの湧水は、ミュンヘン市水道の重要な水源になっています。

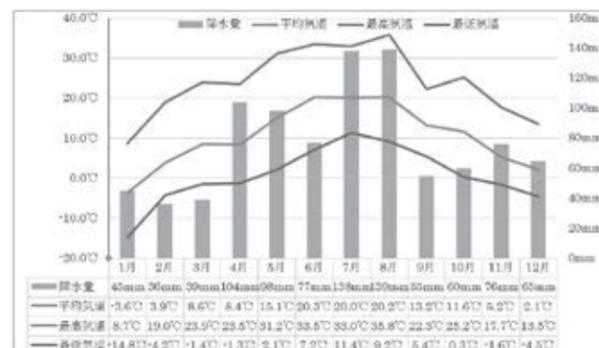
## ● 人 口

152万6,056人(2017年12月現在)。  
大都市であるにも関わらず、都会の冷たさがなく、お祭りの活気があふれる街ミュンヘンは、「100万人の村」という愛称を持っています。また、外国人(421,832人、うち日本人3,057人)が非常に多く、国際色豊かな都市であると言えます。

## ● 気 候

大西洋沿岸性気候と大陸性気候の変わり目にあたり、温暖な気候です。7~8月は日中の最高気温が30度を超える日もありますが、湿度が低いため比較的過ごしやすいです。

2017年の年間平均気温10.4度、日照時間1,797時間、降水量932mm。



## ● 歴 史

ミュンヘンは、10世紀にベネディクト派の僧侶がイザール河畔につくった集落が起源で、「修道僧の住むところ」という言葉が名前の由来となっています。ミュンヘンの街の歴史は、1158年にハインリヒ獅子王がイザール川に新しい橋を架け、塩の取引には必ずミュンヘンを通るようにしたことから始まります。修道院のある小さな村だったミュンヘンは、この通行税で豊かになり、発展していきました。

1180年にはヴィッテルスバッハ家の支配下に置かれ、王宮所在地としてドイツの首都となったこともありますが、美術を愛したヴィッテルスバッハの大公たちが収集した美術品は、今日にも多く残されています。

17世紀から18世紀にかけて、ミュンヘンは「ドイツのローマ」と呼ばれ、バロック様式の建物が盛んに建設されました。1806年に王国となったバイエルンでは、「ミュンヘンをドイツの誇りになる都市にしたい」として、古典主義の建築物を市内に完成させました。

第2次世界大戦では、ミュンヘンの45%が瓦礫の山と化しましたが、見事に復興を果たし、1972年には夏季オリンピックが開催されました。この大会を機に地下鉄や郊外電車が整備され、今日の経済発展へとつながりました。



イザール川

写真提供:ドイツ観光局



ヴィッテルスバッハの居城「レジデンツ」

写真提供:ドイツ観光局

## ● 市 章

市名の由来「修道僧の住むところ」にちなみ、修道僧をモチーフにした絵柄が用いられています。デザインはこれまでに数回変わり、1957年に現在のものが制定されました。



# München

## ミュンヘン市の概要

### ● 行政

ドイツの地方自治体の組織構造は「参事会制」「市長制」「北ドイツ議会制」「南ドイツ議会制」の4つの形態がありますが、ミュンヘン市は住民が直接選出した市長が議会の議長と行政の長を務める「南ドイツ議会制」をとっています。

ミュンヘン市は3人市長制をとっており、第一市長には「大市長」の呼称が与えられ、副市長は第二市長、第三市長と呼ばれています。(市の組織構造は58ページ参照)

大市長は6年ごとに公選されますが、第二、第三市長は市議会がその構成員の中から選出しています。

また、ミュンヘン市は「バイエルン州市町村法」によって、郡と同格の都市とされています。バイエルン州の州都で、25の「市区」からなっています。

### ● 産業

ミュンヘンは世界有数のハイテク産業地域で、多くのグローバル企業がその拠点を置いています。ドイツ株価指数(略:DAX)の主要30企業のうち5社(アリアンツ、BMW、リンデグループ、ミュンヘン再保険、シーメンス)の本社がミュンヘンにあり、ドイツ国内で最も多くなっています。そしてミュンヘンには、ドイツ特許局とヨーロッパ特許局もあります。

2015年の総生産高は約1,041億ユーロで、これはバイエルン州の総生産高の19.0%を占めており、就業者一人当たりの総生産高は98,041ユーロ、住民一人当たりの総生産高は72,356ユーロに及びます(内訳:融資・賃貸・対企業サービス業32.1%、製造業26.9%、商業・レストラン・ホテル業・交通25.3%、サービス業19.1%、農林水産業0.1%)。

社会保険加入の就業者(自営業者や公務員などを除く)は約82万人で、失業率はドイツ全国の5.8%に対し、ミュンヘン市は4.2%と低くなっています(2016年)。

### ● 交通

ミュンヘン市中心部から北東へ約30kmに位置するミュンヘン空港(正式名称:フランツ・ヨーゼフ・シュトラウス空港)は、世界中からこの地を訪れる人々の拠点となっており、2016年には4,226万人が利用しました。

ミュンヘン市と近郊を結ぶ近郊高速鉄道(Sバーン)は、空港から市中心までを約40分で運行します。地下鉄(Uバーン)、市バス、市電とともに市内全域を網羅し、市民の足となっています。



# München

## ミュンヘン市の概要

### ● スポーツ・イベント

1972年のオリンピックを契機として造られたオリンピック公園は、85万㎡の広さを持つヨーロッパ最大級のスポーツ・余暇公園です。

日本と違い学校での部活動が無いドイツには、多くの市民スポーツクラブが存在し、現在、705のクラブがあります。中でも市営プールがとても人気であり、2016年には市内15カ所の市営プール利用者は349万人にのぼりました。

また、ミュンヘンでは季節ごとにさまざまなイベントも開催されます。春・夏・秋に開かれる骨董市「アウアー・ドゥルト」、9月に開催される世界最大のビール祭り「オクトーバーフェスト」、冬の伝統行事「クリスマス市」のほか、カーニバルやフィルムフェスト、オペラフェスティバルなどが街をにぎわします。



### ● 教育

ミュンヘンの一般学校は336校あり、生徒総数は125,621人(2016年現在)です。小学校にあたるグルントシューレ(4年間・市内に155校)を終了した後、希望や学力によってミッテル/ハウプトシューレ、レアルシューレ(実科学校)、ギムナジウム(大学進学を前提とした中等学校)の3コースに分かれます(順に市内に59校、38校、52校)。

また、ミュンヘンは大学の街として知られており、2016年は117,971人の大学生(うち外国からの大学生19,961人)がいます。ドイツの中で1、2を争う学生数を誇るミュンヘン大学には、50,481人(うち外国からの大学生は7,787人)もの学生が在籍しています。

生涯学習を行う学校としては、ミュンヘン市民大学があり、17,104コースに約23万人が登録しています。

図書館施設も充実しており、蔵書約1,049万冊を誇るバイエルン州図書館を始め、市立のものだけでも約30の図書館があります。

### ● ミュンヘン市の姉妹都市

- 1954年 エジンバラ (イギリス)
- 1960年 ベローナ (イタリア)
- 1964年 ボルドー (フランス)
- 1972年 札幌 (日本)
- 1989年 シンシナチ (アメリカ)
- 1989年 キエフ (ウクライナ)
- 1996年 ハラレ (ジンバブエ)



# 資料編

## 札幌市、ポートランド市、ミュンヘン市 及び瀋陽市、国際親善ジュニアスポーツ 交流代表者会議に関する確認書

札幌市、ポートランド市、ミュンヘン市及び瀋陽市の代表者は、スポーツを通じ、青少年の健やかな育成を目指すと共に、青少年の諸外国での見聞を広め、重ねて4都市間の親善を図るため、1984年10月6日、札幌市で会合し下記事項について確認をした。

### 記

#### 1. 1985年に関する交流の方針

- (1)開催期日 瀋陽市で開催される第2回北方都市会議の会期(1985年9月19日～22日)を目どとする。
- (2)開催都市 瀋陽市
- (3)参加都市 札幌市・ポートランド市・ミュンヘン市・瀋陽市
- (4)参加対象 12歳～14歳の少年(男子)
- (5)競技種目 サッカー
- (6)費用 瀋陽市までの旅費は参加都市の負担とする。  
滞在費は瀋陽市で負担する。
- (7)役員・選手 20人以内とする。

#### 2. 1986年以降に関する交流の方針

- (1)開催期日 毎年開催することとし、その前年の開催都市において、各都市代表者により協議する。
- (2)開催都市 別表のとおり
- (3)参加都市 札幌市・ポートランド市・ミュンヘン市・瀋陽市
- (4)参加対象 12歳～14歳の中学生レベルで位置づける。
- (5)協議種目 その前年の開催都市において、各都市代表者により協議する。
- (6)費用 開催都市までの旅費は参加都市の負担とする。  
滞在費は開催都市の負担とする。
- (7)役員・選手 20人以内とする。

#### 3. その他

上記事項を各都市で検討し、結果を札幌市に報告することとする。

本書は、日本語・英語・中国語で作成する。

1984年10月7日

札幌市教育長  
遠藤 高志

ポートランド市カスケード・ラン・オフ理事  
パトリシア・ノール

ミュンヘン市スポーツ局長  
エルヴィン・クフナー

瀋陽市体育委員会秘書長  
呂 順 興

## 経済、技術、文化の分野における友好交流及び協力

1986年6月28日 於：札幌市

札幌市、ポートランド市、ミュンヘン市、および瀋陽市の市長と代表は、1986年6月28日札幌市で会し、友好と平等互惠の基盤に立って、4市間の経済、科学、技術、芸術、体育、教育等の友好交流を積極的に発展させ、相互理解を深め、4市の繁栄に貢献することをここに念願するものである。

日本国  
札幌市長

アメリカ合衆国  
ポートランド市長

板垣 武四



ドイツ連邦共和国  
ミュンヘン市代表

中華人民共和國  
瀋陽市代表

D. Klein Huber

孫 維 群

## 札幌・ミュンヘン姉妹提携団体一覧

提携年月		提携団体	
1	1975年 8月	サッポロインターナショナルアンサンブル	ミュンヘン独仏合唱団
2	1978年 4月	日本調理師倶楽部	バイエルン調理師会
3	1982年 7月	ソロプチミスト札幌	ソロプチミストミュンヘン
4	1982年 7月	札幌ソントクラブ	ミュンヘンソントクラブ I・II
5	1982年 8月	北海道大学	ミュンヘン大学
6	1982年 9月	札幌花き地方卸売市場	ミュンヘン花き卸売市場
7	1987年 9月	札幌市立稲積中学校	マクシミリアン・ギムナジウム
8	1987年 9月	札幌市立宮の森中学校	リカルダ・フーホ実科学校
9	1992年 8月	札幌市電の会	ミュンヘン市電友の会

# （ミュンヘン市の行政組織図）

- 大市長 ディーター・ライター（ドイツ社会民主党(SPD)）
- 第二市長 ヨセフ・シュミット（キリスト教社会同盟(CSU)）
- 第三市長 クリスティネ・ストロブル（ドイツ社会民主党(SPD)）



## （歴代ミュンヘン市長） （第2次大戦後～現在）

1945～	カール・シャルナグル	1978～	エーリッヒ・キースル
1948～	トーマス・ヴィンメル	1984～	ゲオルク・クローナビッター
1960～	ハンス・ヨッヘン・フォーゲル	1993～	クリスティアン・ウーデ
1972～	ゲオルク・クローナビッター	2014～	ディーター・ライター

### 札幌・ミュンヘン姉妹都市提携45周年記念誌

- ◆ 発行年月 2018年9月
- ◆ 発行 札幌市総務局国際部交流課  
札幌市中央区北1条西2丁目  
☎011-211-2032
- ◆ 印刷 岩橋印刷株式会社



本冊子は本文・表紙とも再生紙を使用しております。